

旭未来のチカラ

Vol.8



令和8年度全国高校総合体育大会
柔道競技大会出場

平津 涼夏さん(千葉黎明高・3年)

悔しさをバネに一戦必勝で全国の舞台へ挑む

指導者である父と2歳上の兄の影響で、小学1年生から道場に通い始めました。現在は週6回、学校での練習を中心に、他校遠征や校内合宿で鍛錬を重ねています。

柔道は技術だけでなく、延長戦を見据えたスタミナが不可欠です。だからこそ、日ごろから自分を追い込み、限界を超える意識で練習に取り組んでいます。

高校1年生のときに全国大会出場を果たしましたが、初戦敗退。

昨年の予選では全国大会出場を逃し、非常に悔しい思いをしました。それだけに「今年こそは」という強い決意で予選に挑みました。全国が決まった瞬間は、喜びよりも「やっとたどり着いた」という^{あん}ど堵が込み上げました。勝利の先で仲間たちが喜ぶ顔を見ることが、何よりの原動力です。

リベンジとなる今回の全国大会では、一戦でも多く勝ち進めるよう、最後まで諦めずに挑みます。